

Ⅲ-7

ママ友・パパ友づくりしてありますか？ ～親同士のコミュニケーションづくり～

対象：幼児～小学生の子どもをもつ保護者
時間：30～45分程度

ねらい	親同士のつながりを作っておくことが大切であることに気づき、つながりのきっかけづくりについて考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通の話題をもとに親としての対応を紹介し合い、親同士の和やかなコミュニケーションをとることができる。 ○ 親同士のつながりを作っておく大切さに気づくことができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名札用カード (または付せん紙) ○ 筆記用具 (マジック) ○ ホワイトボード (黒板) ○ 時計 ○ ワークシート ○ グループ番号札 ○ 掲示資料 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 7～10分	<p>ワークの趣旨説明</p> <p>○アイスブレイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名札カードを作る。 ・グループ分け・自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者の緊張をほぐし和やかな雰囲気を作る。 ・今日呼んでほしい名前と子どもの名前を名札用カードに書く。 ・アイスブレイク「肩たたきジャンケン」で3～5人程度のグループをつくる。 ・自己紹介をし、互いに親近感がもてるようにする。 ・3つの約束を確認する。 	名札用カード(付せん紙) マジック 3つの約束
展開 15～20分	<p>ワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読む。 ・エピソードをもとに、自分がAさんの保護者ならどうするか、グループで話し合う。 ・Bさんの保護者と知り合いの場合、まったく知らない場合、どう行動するか、出し合う。 ・(時間があれば) そう行動したらどうなるか、後の展開を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎トラブルの相手と知り合いかそうでないかによって対応が違うことに気づくことをねらいとする。 ○エピソードをもとに自分がAさんの保護者ならどうするか、 <ul style="list-style-type: none"> (1) Bさんの保護者と知り合いの場合 (2) 全く知らない場合 という設定ごとに、グループで話し合う。 <予想される反応> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにもっと詳しく聞く。 ・家族で相談する。 ・相手の家へ電話する、行く。 ・周りの保護者に相談する。 ・日頃からの様子をもっと先生に聞く。 ・グループでできるだけ全員が司会者と発表者になるようにする。 ・その行動を取った場合その後どうなるか話し合う。 	ワークシート ホワイトボード(または黒板)
6～10分	<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番仲の良いママ友・パパ友との出会いについて思い出す。 ・日頃から、親同士のつながりを作るために心がけておくことについて話し合う。 ・グループで出た意見を発表し、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎親同士のつながりを作るため日頃から必要なことについて考えることをねらいとする。 ・ワークを振り返り、親同士のつながりの有無で対応や話しやすさに違いがあることをおさえ、一番仲の良いママ友・パパ友とどこでどうやって友達になったか問いかける。 ・日頃から心がけておくことについて、進行役を中心に話し合う。 ・普段から情報交換をして、つながりを持つことが必要であることを確認する。 	
まとめ 2～5分	<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ふりかえりをもとに、親も社会性を育てることや「そのやり方、教えて」と言える・言われる関係を作っていくことが大切であることに気づくことができるようにまとめる。 ・人間関係づくりのコツ「あせらずだんだんに」「ほどほどの距離で」「今度はあなたが声をかける番」等を伝える。 	資料